

2022年（令和4年）受賞者  
栄えある受賞おめでとうございます。（敬省略）

瑞宝双光章（秋） 中野 寿 夫

厚生労働大臣表彰 田 中 宏

埼玉県知事表彰 公衆衛生事業功労者に対する知事表彰

齋 藤 幸 夫

志 田 智 樹

八木沢 英 樹



左から田中会長・齋藤幸夫氏・志田智樹氏・八木沢英樹氏

## 瑞寶雙光章を受章して

熊谷外科病院 中野 寿夫

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会会員の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて私こと、令和4年秋の叙勲において、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会のご推薦により、瑞寶雙光章の栄誉に浴することができました。

これもひとえに永年にわたり歴代会長をはじめ、多くの先輩方または同僚、そして会員の皆さまに支えられた賜物とあらためて深謝します。

令和4年11月24日、埼玉県知事公館にて大野知事より、勲記・勲章の伝達を受けました。昨年同様、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、皇居での拝謁、式後のパーティは中止となりましたが、中庭で知事から眩い紅葉の下、記念撮影に応じていただくなど貴重な体験をさせていただき、感謝と感激でいっぱいです。

昭和54年、夜間の放射線技師学校に入学と同時に放射線科補助員として奉職、43年間医療従事者として歩んできた事が走馬灯のごとく過ぎて行き、感慨深い気持ちです。本会とは、平成2年熊谷駅ビルでの放射線展企画にて、駅前の医療機関との事で実行委員となり、それからの関係で地区役員、平成9年から平成13年まで理事、地区会長をさせていただきました。その間、地区会則制定に地区役員の皆さまと行った事や、学術大会などでの運営など自身として誇れる実績などございませぬが、皆さまに支えられ会務の運営に携わる事ができました。このたび受賞内示にあたり、本会会務や地域医療にもっとできた事があったのではと恐縮しています。今後はこの章の栄誉に恥じぬよう職場スタッフや会員皆さまの規範となるよう精進して参りますので、今後ともご指導ご鞭撻をお願いします。

最後に、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会のますますのご発展と会員の皆さまのご健勝とご多幸をお祈りし、ご報告とお礼のあいさつとします。



左：中野寿夫 右：大野知事

## 2022年度 第20回 胸部認定試験 開催報告

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会  
学術理事 滝口 泰徳

2023年1月15日（日）に埼玉県診療放射線技師会主催の第20回胸部認定試験がオンライン形式で開催されました。認定試験の受験者は県内外合わせ11人でした。昨年度よりオンライン形式で開催しており、県外からの受験者がいることはそのメリットであると感じます。

開催方法は昨年度同様、Zoomで受験者と通信を行ったまま、Webのアンケートサイトを用い読影問題および筆記問題を解答する方法をとりました。試験後の受験者のアンケートでは「とても勉強になりました」や「自分に足りないところが分かりました」などの感想をいただき、今後もより内容を充実させつつ、事業を継続する必要があると感じました。

認定試験を行うに当たり、問題作成にご協力いただいた講師の先生方、オンライン開催に向けさまざまなお意見を下さった学術委員、また受験いただいた皆さまにこの場をお借りしてお礼を申し上げます。

認定試験の結果は以下の通りです。

### 【胸部認定】

A認定：該当者なし

B認定：吉澤 孝郁（埼玉医科大学総合医療センター）  
五十嵐 慧（かわぐち心臓呼吸器病院）  
松吉 和樹（自衛隊中央病院）  
奥田 さくら（丸山記念総合病院）  
新井 隼統（上尾中央総合病院）  
須崎 雅人（埼玉県済生会川口総合病院）

認定試験を合格者したかたがたには、各施設において撮影技術向上と精度管理の普及をお願いするとともに、放射線業務の質の向上に努めていただければ幸いです。

## 2022年度 乳腺セミナー 開催報告

学術委員 亀山 枝里

2023年1月15日(日)に、埼玉県診療放射線技師会主催の乳腺セミナーが、オンラインで開催されました。受講された参加者は22人おり、県外からの参加者も見られ、オンライン開催の利点であると考えられます。

今回のセミナーでは、マンモグラフィの標準撮影法と読影法の基礎から追加撮影法まで学べる内容でした。早期乳がんを見逃さないために重要な項目であり、セミナー後のアンケートに関しても、良かったとの回答を頂け、次回開催に向けてのご意見も頂きました。

今回ご講演いただきました講師のかたがた、またご参加いただいた受講生の皆さまにこの場をお借りしてお礼申し上げます。

### プログラム (敬称略)

9:00~10:00	マンモグラフィの標準撮影法	埼玉協同病院	佐藤夏都美
10:00~11:00	マンモグラフィの追加撮影法	熊谷生協病院	新島 正美
11:10~12:10	マンモグラフィの読影法	熊谷総合病院	亀山 枝里

## 2022年度 第13回CT認定試験開催報告

学術理事 中根 淳

2023年1月19日（木）に、昨年度同様にオンライン環境のみで第13回CT認定試験を開催した。認定試験の受験者数は7人であった。昨年度よりCT認定試験は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を考慮し、会場集合型から切り替えてオンラインで実施をしている。オンライン開催のため、他県からの受験がありオンラインのメリットと考えている。内容は、例年通り筆記・読影・物理特性の3つの試験を実施し、各試験70点以上で認定取得となる。試験当日、ページングによる読影はリモートデスクトップアプリケーションなどを活用し、会場型と同じような試験を構築し、大きなトラブルもなく終えることができた。今後も、オンラインにて継続的に認定試験は実施する予定である。

最後に認定試験を行うに当たり、問題作成にご協力いただいた講師の先生、また受験いただいた皆さまにこの場をお借りしてお礼を申し上げます。

### 【CT認定者】敬称略

A認定：該当者なし

B認定：安澤 毅幸（西大宮病院）

武田 尚也（上尾中央総合病院）

白石 健吾（埼玉医科大学総合医療センター）

認定試験を合格されたかたがたには、各施設でCT検査の技術向上において中心的な役割を担っていただけなら幸いです。

## 2022年度救急撮影ケーススタディ Web 開催報告

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会  
学術理事 滝口 泰徳

2023年1月20日（金）にWeb会議システムを用いて、2022年度救急撮影ケーススタディ Webを開催しました。参加は10人の申し込みがありました。内訳は、埼玉県以外にも多くの地域からの参加があり、オンラインセミナーのメリットと考えています。内容と講師は、以下の通りです。

### プログラム（敬称略）

19：00～20：00	頭頸部領域の疾患	埼玉石心会病院	岡本 拓己
20：00～21：00	胸部領域の疾患	上尾中央総合病院	武田 尚也 宮本 桃子
	グループワークファシリテータ	上尾中央総合病院 埼玉医科大学総合医療センター JCHO 船橋中央病院	佐々木 健 大根田 純 滝口 泰徳

埼玉県診療放射線技師会では救急撮影ケーススタディとして、「1つの疾患に対して、身体所見、生理検査から総合的に画像検査を捉える」ことを目的にグループワークを含む講習会を行ってまいりました。しかし、ここ2年間は新型コロナウイルスの感染拡大の観点から、Web(Zoom)を用いた座学中心のセミナーとなっておりますが、Zoomのブレイクアウトルーム機能を用いることにより、再びグループワークを行うことが可能となりました。今回のテーマは「絶対に見逃してはいけない救急疾患」ということで、頭頸部と胸部領域について行われました。ブレイクアウトルームを用いた講習会は学術事業として初めて行いましたが、演者の先生や学術委員との事前練習の成果もあり滞りなく終了できたものと思います。開催後のアンケート結果では非常に高い満足度が得られており、今後も継続的に開催し、より多くの方に参加していただきたいと感じました。

最後になりますが、講師の皆さまおよびセミナーに参加していただいた皆さまにこの場をお借りして、心よりお礼申し上げます。

## 2022年度 上部消化管検査認定講習会・認定試験 開催報告

学術担当 浅見 純一

2023年1月22日（日）に2022年度上部消化管検査認定講習会を開催しました。今年度も前回と同様に完全オンライン形式での開催となりましたが、熊本県から参加された方もいらっしゃり、遠方からのご参加はオンライン開催による効果だと考えております。申込者数は7人で、全ての方が全講習会を聴講し修了されました。今後もより充実した講習会を開催できるように企画してまいります。

講習会のプログラムおよび講師は下記の通りです。

### プログラム（敬称略）

開催日：2023年1月22日（日）

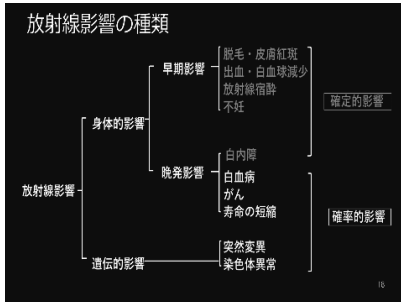
会 場：Zoomを利用したオンライン講習

8：30～ 9：30	X線透視装置の基礎：画質：性能評価	浅見 純一（行田中央総合病院）
9：40～10：40	被ばく管理	志田 智樹（丸山記念総合病院）
10：50～11：50	受診者管理（造影剤・検査説明・接遇・情報管理）	伊藤 寿哉（埼玉石心会病院）
11：50～12：50	昼休み	
12：50～13：50	上部消化管撮影技術	池田 圭介（済生会川口総合病院）
14：00～15：00	上部消化管検査に必要な病理	今出 克利（大宮医師会）
15：10～16：10	上部消化管検査に必要な読影	今出 克利（大宮医師会）
16：20～17：20	精密検査法とレポート作成	大森 正司（さいたま赤十字病院）

また、2023年2月5日（日）に2022年度上部消化管検査認定試験を開催しました。今年度も前回と同様にオンライン試験となりましたが、大きなトラブルもなく開催することができました。2人の方が受験されましたが、合格者はいらっしゃいませんでした。今後も、新型コロナウイルスの感染状況に左右されないように、講習会や認定試験を企画してまいりますので、ぜひ、ご参加ください。

終わりに、参加された受講生の皆さま、講義を担当していただいた先生方に、この場を借りて深くお礼申し上げます。

【講義資料および認定試験（画像評価）の一部】



被ばく管理

### バリウムの禁忌

禁忌

次の患者には投与しないこと

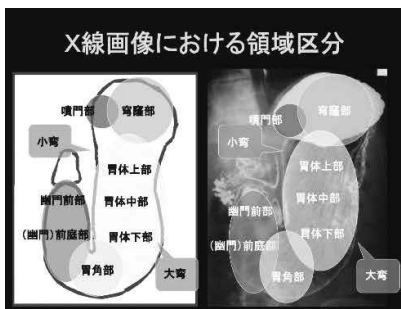
- ①消化管の穿孔又はその疑いのある患者  
消化管外(腹腔内等)に漏れることにより、バリウム液漏れ等の重篤な症状を引き起こすおそれがある。
- ②消化管に急性出血のある患者  
出血部位に穿孔を生ずるおそれがある。  
また、腸原性腸炎等より破綻バリウムが血管内に侵入するおそれがある。
- ③消化管の閉塞又はその疑いのある患者  
穿孔を生ずるおそれがある。
- ④全身衰弱の強い患者
- ⑤過敏バリウム製剤に対し、過敏症の既往歴のある患者

受診者管理

### 照射野ライトを用いたフトン挿入法

- 4) フトンを押しつづす様にしてもらう
- 5) 胃形が釣伏胃形状に矯正されているか確認。

上部消化管撮影技術



上部消化管検査に必要な読影

### 隆起の高さ表現 Ba量を変えた撮影

精密検査法とレポート作成

(受検番号) 〇〇〇 (氏名) 〇〇〇 (所属施設) 〇〇〇

胃鏡 98点

【読影評価のコメント】  
 (※経過観察を要しているが、100%が陰性にて、6mm以上あるので精査として評価した)  
 検出：胃体下部胃体中部に造影不鮮な隆起を認める  
 検出：胃体下部胃体中部にて、前庭部バリウムの存在によるフライトを認める  
 検出：二重造影正面像にて、胃体中部のバリウムの存在により二重造影式の造影像が映り出している  
 右形似似二重造影正面像にて、胃体下部に造影不鮮な隆起を認める。また、胃体上部後壁小彎に十二指腸球部化の重なりによるフライトを認める  
 全体的に大きな病変がない

画像評価



## 放射線被ばくに関する講習会 開催報告

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会  
公益理事 紀陸 剛志

2023年1月25日（水）に埼玉県診療放射線技師会主催の放射線被ばくに関する講習会が、オンラインで開催されました。参加者は24人でした。昨年同様、埼玉県外からの申し込みが多数あり、放射線被ばくに関する関心の高さを再認識しました。

今回は、「放射線被ばくに関する知識をアップグレードしよう」という趣旨から、JART会誌に連載されている「放射線の影響・防護の知識」放射線影響研究所 中村典先生の誌上講座の内容を参考に、1、放射線被ばくに関する基礎知識 2、放射線被ばくとがん 3、放射線被ばくと遺伝的影響 について、講師のかたがたに講演いただきました。被ばく相談にもよく関連する内容であり、知識のアップグレードの重要性を感じる、非常に興味深い講演となりました。また改めてJART会誌を読み返すことで、さらに理解が深まると感じました。

昨今の法改正により、国民に対して診療放射線技師が、正しい放射線知識の啓発に貢献できると期待されていることから、われわれも放射線被ばくに関する知識を正しく理解し、身に付けておく必要があります。今後も知識のアップグレードのため、放射線被ばくに関する講習会を企画していきます。皆さまのご参加をお待ちしております。

最後に、当講習会にご協力いただきました講師のかたがた、ご参加いただきました会員の皆さまに、この場をお借りしてお礼申し上げます。

### プログラム（敬称略）

総合司会 埼玉医科大学病院 紀陸 剛志

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 1 放射線被ばくに関する基礎知識 | 上尾中央総合病院 嶋崎 恭介  |
| 2 放射線被ばくとがん      | さいたま赤十字病院 大河原進司 |
| 3 放射線被ばくと遺伝的影響   | 済生会川口総合病院 志藤 正和 |

## 第4回SART被ばく相談事例検討会 開催報告

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会  
公益理事 紀陸 剛志

2023年2月18日（土）に埼玉県診療放射線技師会主催の第4回SART被ばく相談事例検討会が、RaiBoC Hall(市民会館おおみや)で開催されました。参加者は13人でした。3年ぶりに会場集合型の開催となり、参加者同士での活発な意見交換を拝見することができました。

今回は、「相談者の本音を引き出す！回答力アップのコツ」という趣旨から（1）被ばく相談とは、コツ（2）メールでの被ばく相談（3）対面での被ばく相談 について、3人の公益委員に講演していただきました。普段被ばく相談を行っていく上でのコツや、初心者でも安心して始められるような分かりやすい内容で、非常に興味深い講演となりました。

グループワークでは、相談内容をディスカッションした後、実際に発表形式にて被ばく相談を行いました。今回は、国家資格キャリアコンサルタントのかたがたに、アドバイザーとしてご参加いただきました。われわれが普段行っている被ばく相談に対して、一般市民としての意見や感想を聞くことができ、相談者の気持ちの揺らぎや応対について助言を頂きました。医療側の伝えたい返答と、一般市民側の気持ちの変化を実際に感じることで、今後の被ばく相談の幅が広がる貴重な機会となりました。

最後に、当講習会にご協力いただきました国家資格キャリアコンサルタントの小林さま、高岡さま、ご参加いただきました会員の皆さまに、この場をお借りしてお礼申し上げます。

### プログラム（敬称略）

司会 佐々木 健、紀陸 剛志

#### 1. 相談者の本音を引き出す！回答力アップのコツ

(1) 被ばく相談とは、コツ

SART公益委員 石田 仁子

(2) メールでの被ばく相談

SART公益委員 宮崎 千晶

(3) 対面での被ばく相談

SART公益委員 内海 将人

#### 2. 被ばく相談事例検討会（グループワーク）

グループワークファシリテータ

SART公益委員

アドバイザー

国家資格キャリアコンサルタント 小林 京子

国家資格キャリアコンサルタント 高岡 稔

## 第36回埼玉県診療放射線技師学術大会 開催報告

大会長 田中 宏  
 実行委員長 城處 洋輔

第36回埼玉県診療放射線技師学術大会は新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、ソニックシティの会場とWeb配信を併用したハイブリッド形式にて、2023年3月5日（日）に開催した。参加申し込み者数は238人で、県内が234人、県外は4人であった。

大会テーマは、『診療放射線技師の次なるステージを目指して』とし、これからの診療放射線技師の在り方を考える大会となるよう思いを込めた。一般演題には29演題と多くの登録があり、発表していただいた演者の先生方には感謝申し上げます。

大会講演では、順天堂大学医学部附属順天堂医院の木暮陽介先生に「STAT画像報告の新しいステージ」について講演いただき、現在進めているSTAT画像報告ガイドラインの概要や進捗について分かり易く解説され、非常に興味深い内容であった。特別講演では日本診療放射線技師会理事の高橋俊行先生に「日本診療放射線技師会 新生涯教育システムについて」について講演頂き、ラダーシステムの考え方、現在利用できる範囲などについて紹介された。学術講演1では、上尾中央総合病院循環器内科の増田尚己先生に「虚血性心疾患の治療」について講演いただいた。学術講演2では、さいたま赤十字病院の寺澤和晶先生に「造影CT技術の草分けを回想する～八町先生の造影理論～」について講演いただいた。その他、フレッシュセミナー、学術委員会企画、ランチョンセミナー、臨床検査技師会合同シンポジウムを企画した。

大会運営については、埼玉県で初めてのハイブリッド開催であり、実行委員をはじめ、講師・座長・演者の先生方の事前の準備から当日の発表に至るまでご協力いただきまして、この場をお借りして感謝申し上げます。

次回の第37回埼玉県診療放射線技師学術大会は2024年3月3日（日）、ソニックシティで開催予定です。開催形式については変更する可能性があります、ぜひご参加ください。

### 【最優秀演題賞】

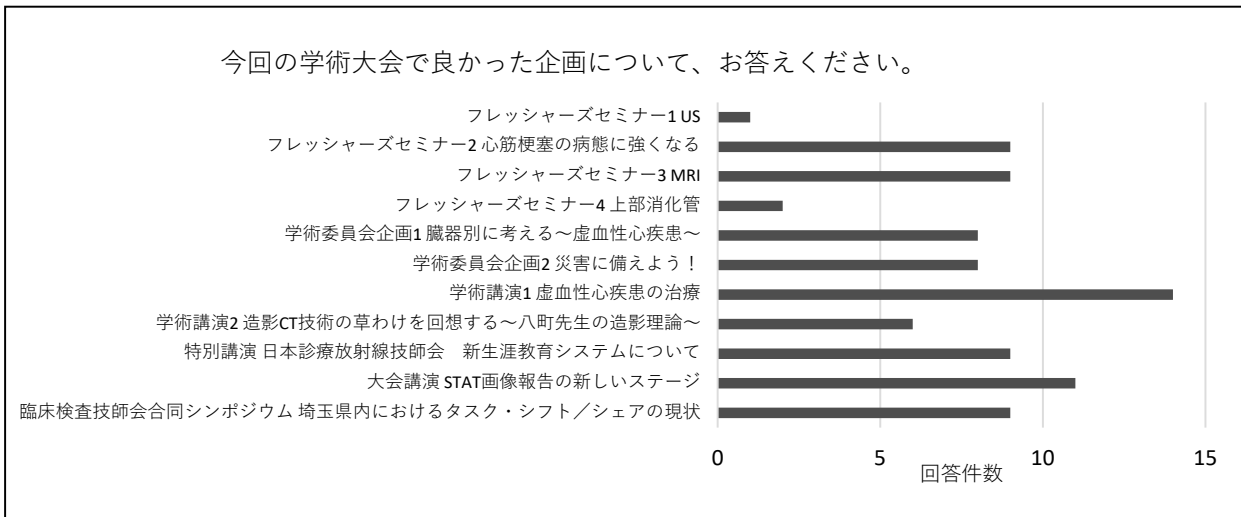
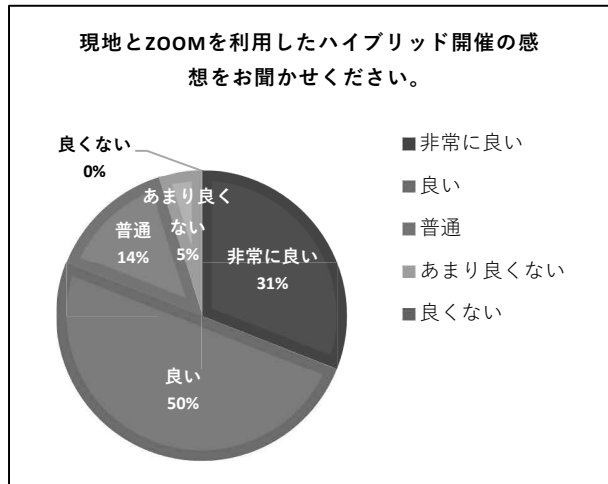
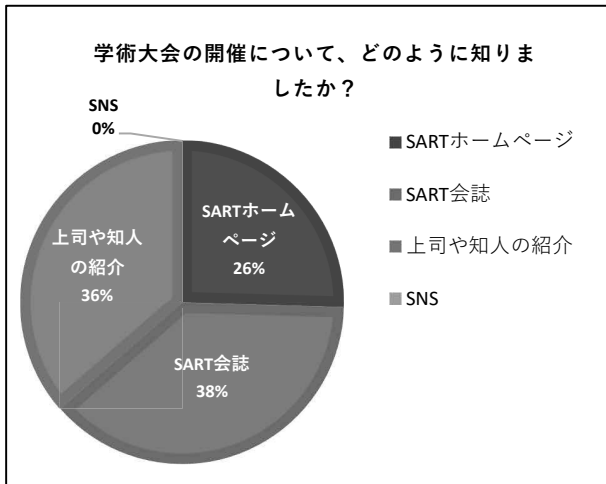
演題番号7：自動断面設定を用いた膝関節MRIにおける再現性の検討  
 埼玉医科大学病院 若林 将希

### 【優秀演題賞】

演題番号27：深層学習再構成法が金属アーチファクト低減処理を用いた  
 金属物質再構成画像に与える影響  
 上尾中央総合病院 中川原 拓実

演題番号15：移動型X線透視装置における3Dスキャン条件の基礎的検討  
 上尾中央総合病院 蛸原 彩

【アンケート報告】



学術大会に参加した感想およびご意見など、ご入力ください。（抜粋）

- ・ 医師の講演は貴重なので聞いて良かった。
- ・ 職場で活かせる知識と診療放射線技師としての最新の情報が得られた。
- ・ ハイブリッド開催があると参加者も増えていいと思う。
- ・ 体調や家庭の事情等、現地に行かなくても参加できてたので良かった。
- ・ ZOOMは遠方からや多く時間が割けない人にとって参加しやすく良いと思う。しかし現地は現地でその場の雰囲気などモニター越しでは感じえない空気感があり良いと思うので、今回の様なハイブリッド型の開催を続けてほしい。
- ・ Zoomでの参加となりましたが、通信不良が重なり聞きにくい場面が多々ありましたので改善していただけると幸いです。
- ・ Zoom開催の利点もありますが、やはり回線が不安定なので改善できればよいのですが。
- ・ 機器展示ブースが閑散としていたのが残念だった。

今後、聞いてみたい企画や内容など、要望がありましたら、ご入力ください。

- ・ AIの画像再構成について
- ・ STAT 画像の講演と、タスクシフトへの各施設の取り組みが今後も興味あります。
- ・ 医療安全、機器管理、一般撮影、救急医療
- ・ STAT の事業は解りました。先行する認定資格の機器管理士、放射線管理士の活動はどうなっているのでしょうか？
- ・ 虚血性心疾患は興味あり、勉強になりました。
- ・ 会場でのFreeWifiがあれば、会場でZoomでスライドがよく見えますね。検討ください。

## 本会の動き

本会の動き



開会宣言



大会長あいさつ



受付風景



機器展示風景



実行委員長あいさつ



閉会宣言

本会の動き



実行委員 集合写真



ご来賓の皆さま

## 2022年度 MRI基礎講習会 (Web) の開催報告

埼玉県診療放射線技師会  
学術理事 近藤 敦之

埼玉県診療放射線技師会が主催してきたMRI基礎講習会は、昨年に引き続きZoomを利用したオンラインセミナーとし2023年3月25日(土)に開催しました。内容は性能評価項目に関する講義、問題演習としました。受講者は19人でした。

装置性能評価解説(評価項目、レポート作成について)では認定試験受験に必要な装置性能評価項目の解説をしました。この講義を受けることで性能評価実験のやり方、レポート作成ができるようになったと思います。実験の進め方については複数の装置メーカーの例を提示し、実験を進める上での注意点を解説しました。実験を進める際のポイントがつかんでもらえたと思います。試験問題解説では、磁気共鳴専門技術者認定試験の中から性能評価に関連する問題を取り上げました。試験問題を表示してから解説する演習形式で講義をしました。性能評価を整理してもらえたと思います。

最後に、講師の皆さま、受講者の皆さま、協力いただいた皆さまに感謝申し上げます。

---

### プログラム (敬称略)

---

2023年 3月25日 (土) 13:00~

13:30~14:30 装置性能評価解説 (評価項目、レポート作成について)

さやま総合クリニック 坂口 功亮

14:40~15:40 実験の進め方について

埼玉医科大学病院 近藤 敦之

15:50~16:50 試験問題解説 (性能評価項目関連)

埼玉医科大学国際医療センター 駒形 一成